

.....編集後記.....

◆9月から10月にかけておよそ3週間、中国の新疆ウイグル自治区内にあるタリム盆地とコンロン山脈の麓に出かけた。あと100~200 km ほど西方に行けばキルギスタンやタジキスタン、あるいはアフガニスタン、パキスタン、インドに辿り着くという中国のまさに西域である。主要な都市はカシュガルであり、古来よりシルクロードの交易地・中継地として栄えてきた。ここはウイグル族の町でもあり、日本語と語順がほぼ同じのウイグル語が話されている。

◆実を言えば、新疆ウイグル自治区に出かけたのはこれが3回目になる。行くたびに驚かされるのは景観の圧倒的な雄大さと過酷さである。タリム盆地を埋め尽くすタクラマカン沙漠の大きな砂丘に登ると向こうにもこちらにも延々と砂のうねりが広がっている。また山地に入れば今にも崩れそうな急斜面が眼前に迫ってくる。川は山地を出るところに巨大な扇状地をつくり、いつしか砂地の中に消えていく。タリム盆地を流れる川の水は海に出合うことが

ない。

◆地質屋の目で見てこの地域の一木一草もない山の地肌がそのまま地質断面図になっていることもすごいが、もう一つ心にしみる点は自然条件の厳しい地域に根ざして暮らす人々がいることである。日本人の日常の感覚では内陸沙漠ほどに隔絶した風土なり情景を想像することはできない。風砂と地平と少量の水があり人が住む。きっと誰でも自分の原点を考えてしまうだろう。

◆さて、地質ニュース本号は、日本のそして世界各地の地質にまつわる話題について投稿していただいた論文や記事から構成した。地質調査所の内外を問わず、ご投稿下さった皆様に感謝申し上げます。一言添えれば、著者の方々のうちエルベ・トレノー氏は、フランス BRGM(地質調査所に相当)の研究者であり、当所火山地質課に1年余り滞在されていた。

地質ニュース編集委員会幹事 石井武政 記

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井 登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(嶋山浩之・徳宿由美子)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地 質 ニ ュ ー ス

第483号 1994年 11 月 号

定価 ￥770 千 実 費

1994年11月1日 発行

編 集

発 行人

発 行 所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)
振替口座 東京00110-6-32466
麹町局私書箱第21号

印 刷

小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ